

北汲沢地区だより

ねむのき

第105号 発行日 2021年10月1日

発行 北汲沢連合町内会、北汲沢地区社会福祉協議会

この地域の子育てを知ろう～みんなおいでよ！親子で遊ぼう～

地域と高校の連携活動！

【2021戸高学び塾】を8月4日（水）戸塚高校1階エントランスホールで、北汲沢・汲沢・踊場3地区（ぐみさん会）合同子育てサロンを開講しました。参加者は、こども15名 おとな17名 32名でした。当日は猛暑日でしたが学校の協力のもと通常開けない窓や扉を開放して、熱中症対策やコロナ感染症対策を徹底して行いました。

まずは、運営側のスタッフの紹介と主任児童委員の活動内容の説明から始まりました。いよいよ体操の時間です。北汲沢地区の元主任児童委員で、スポーツインストラクター森初美さんに指導をしていただきました。足を前に出して座りお尻で歩くような感じで前に行ったり後ろに行ったりする体操や、寝転がりながらゴロゴロする体操等コロナ禍でもお家で手軽にできる体操20分位おこない、運動不足解消です。

休憩をはさんで次は、手遊びと読み聞かせの時間です。手遊びの時間は全員で不織布のハンカチを使い「上から下から」「にぎりぱっちり」「ちゅちゅこっこまれ」を楽しく遊びました。紙芝居は「はっくしょん」、絵本の読み聞かせは「おおきなかぶ」です。「おおきなかぶ」は、たくさんの登場人物が出てきます。おおきなかぶが抜けた時には大拍手でした。

おもちゃ作りで完成です。お二人のお子さんと参加したママは、出来上がった糸電話を両耳にあててお子さんのお話しを楽しそうに聞いていたのが印象的でした。

最後に戸塚高校の石室副校長にご挨拶をいただきました。

我が子の子育てを思い出して懐かしいと感想を話されました。会場に遊びに来ていた子どもたちの面倒も見ていただき感謝しております。



今年度の学び塾は主任児童委員の活動をより多くの人に知ってもらうために話し合いを重ね、3地区合同の子育てサロンを開講する事になりました。コロナ禍の今、外出の不安や孤立しないために通常の子育てサロンは開催していますので遊びに来てください。お待ちしております。

（北汲沢地区主任児童委員山田 真理子）

主任児童委員をご存知ですか??

主任児童委員とは、厚生労働大臣の委嘱を受けた民生委員・児童委員で、特に児童福祉に関する事項を専門に担当しています。横浜市には約500名の主任児童委員がいます。

地区を担当する民生委員・児童委員と連携して、児童に関する課題に取り組みます。地域の中の関係機関と連携し、子どもや子育て家庭を支援する活動を行う推進役として、様々な活動を行っています。



たとえば、こんな活動をしています!!

- 子育てサロンの運営・協力
- 小中学校と連携した児童の見守り
- 赤ちゃん教室への協力
- 児童虐待の早期発見に向けた見守りや啓発
- 地域の子育て世帯や関係機関への子育てに関する情報提供



主任児童委員、民生委員・児童委員には守秘義務があり、個人のプライバシーや秘密は固く守ります。子育てに関する事でご自身が悩まれていたり、周囲に悩まれている方がいる場合は、地域の主任児童委員、民生委員・児童委員にご相談ください。(お問い合わせは各区役所民生委員担当へ)

地域の敬老の日状況



連合傘下の5町会では、敬老の集いは中止したが、70歳以上の高齢者に、お祝い品(お茶、菓子)を自宅へ届けて喜ばれた。

新生会	202名(198名)	富士見	117名(105名)
六郎丸	450名(450名)	東明東	158名(151名)
東明西	320名(312名)	合計	1,247名(前年度1,216名)

七〇才以上

地域の耳寄りな話し



生活のヒント・・・台風への備え

秋の台風シーズンを迎えるに当たり
災害をできるだけ減らすには、水、食料
の備蓄はもちろんですが、この秋は、断水
を予想して災害用トイレを準備しませんか。



- 携帯トイレ ⇒ 凝固剤で固める
- 簡易トイレ ⇒ 持ち運びができる

俳句投稿開始・・・第10回

来し方の 歳月重し 大根引く

農業は毎年の繰り返しで成立って居り、先祖からの遺産であり未来へと繋がってゆく。大根を大地から抜き出すことの素晴らしい営みです。

炊煙の 遠きに飛驒の からすうり 烏瓜

奥飛驒の川を挟んで民家と古民家の遺産の佇まいある。なんとなく現代と過去の調和が素晴らしいモニュメントでありました。



(新生自治会 町田 秋泉氏投稿)

世情感を詠む・・・第2回

秋風よ コロナを吹きとばし
穏やかな日々返して

毎日話題はコロナ、一日も早く普通に買物、食事、旅行、田舎と挙式にも行けなかった。兄妹の墓参りにも行きたいと思っております。

きれいだね 真赤なボケの花。

ボケは花だけでいい。

わが庭には毎年赤いボケの花が咲きます。大きい実もつけ、ご近所や友達に小枝を差し上げています。ボケは花に任せておきます。そして、コロナをあなどらず頑張りたいと思っています。

(新生自治会 黒川 登貴子投稿)



短歌を作る楽しみ・・・第12回

血管に 良しと聞きにし 青魚
健やかにと食む 光る秋刀魚を

水揚げされたばかりの秋刀魚は跳ねて輝きその名の漢字の如くまさに名刀の様に美しい。煮ても焼いても美味である 殊に旬の秋は。



(東明西町内会 佐々木つね氏投稿)

地域活動状況・・・新生会館リニューアル

会館は1983年(昭和58年)に建てられ、築後38年になりました。今年8月に13年振りの外装、防水工事と女子トイレ増設工事を行い女性に優しい会館にリニューアルしました。現在の会館は3代目になります。建設に当たっては当時の役員、各担当の方々が防衛庁、横浜市、東電等と度重なる交渉をし、大変な苦勞の末に、鉄骨構造2階建ての頑丈な会館を建てられました。私達も先輩の方々の努力を無駄にせず、手入れしながら大事に使っていきたいと思います。



情報コーナー

北汲沢連合町内会の秋の行事

◇健民祭---ウォーキング中の三密状態回避が困難であるため**中止**

皆さんが例年楽しみにされているけんちん汁や、汲中のブラバン演奏も同様な状況

◇知って得する健康講座---三密状態を避けられず、区からの要請もあり**中止**

◇ワクチン接種は高齢者、成人には及んではいるものの、未だ緊急事態宣言中でもあり、行事の実施は困難な状況は続いている。残念！ →コロナ禍が収まり、年末から年明けの防犯・防災関係の行事の実施が可能になる事に期待！

そこで、今年は子供の集い・健民祭の旗の更新、連合の各町内会毎の会旗の新調を計画中。役員からの意見収集を行い、見積がほぼ終了。役員会での確認の後、発注⇒デザイン調整⇒納入を行い、防犯・防災関係の行事でのお披露目が出来るのが楽しみ！！

～横浜市営交通100周年の歩み～

市営地下鉄の駅で、横浜市営交通100周年のポスターが目に入った。市営交通は、1921年（大正10年 関東大震災の2年前）開業で2021年4月に100周年を迎えた。

踊場駅が開業したのが1999年で、そこからでも22年が経過している。時間のひとくりに10年、20年、100年などを考えるが、自分や家族の人生と照らして、当時何をしていたかを思い出すと長い時間である。市営地下鉄の歴史を調べてみると、市営地下鉄の開業は、1972年（昭和47年）で、伊勢佐木長者町駅～上大岡駅間から始まり、1976年横浜駅～上永谷駅、1985年新横浜駅～舞岡駅、1987年新横浜駅～戸塚駅、1993年（平成5年）あざみ野駅～戸塚駅、1999年あざみ野駅～湘南台駅（ブルーライン線）と徐々に延伸し、長い時間をかけて完成している。100年という期間で見ると、1日1日、1年1年の積み重ね、5年、10年の積み重ねで100年になることを考えると、まず、今日、明日を大切に過ごすことが重要に思われる。

人生も100年時代だそうだ。



地域情報

東明東町内会の活動状況

踊場公園の運動場は大勢の利用者が活用しています。しかし、利用する方のマナー違反により、その周辺にお暮しの皆様の生活が乱されております。使用時間、禁止事項に違反することの無い様に戸塚区土木事務所に掲示板を設置して頂きました。ご利用の際は必ず掲示板に記載の順守事項を確認して下さい。



◇8月21日（土）9時から踊場公園の清掃を実施しました。

参加者は11名で暑い中、円形広場周辺通路から広場の周り迄雑草刈りや小枝の刈り込みなどで汗を流しました。



編集後記

昨今の世の中は、コロナが世界に与えた影響は計り知れず、未だに治まる事を知りません。私達は政府の方や医療に関わる方々の指示に従って感染しない、感染させないをモットーに日々配慮して暮していますが、この事態はいつまで続くのでしょうか。



暑い中マスク生活も苦しいのですが、コロナに感染するよりは楽と二度のワクチン接種を受けた今でも、外出時にはマスクを付けた生活です。残暑の中歩くのは苦しいですがもう少しの辛抱です。お互いに体力を整えて秋に向けて頑張りましょう。

広報紙「ねむのき」への短歌や俳句の投稿をお待ちしています。

加藤 邦雄 小上 ふぢい 前田貴美子
駒口 秀紀 岩田 吉隆